



インターネットでの情報提供	
提供予定日	9月6日

平成24年9月5日(水) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農産園芸課	花き係	大橋 薫子	内線 2868
農産物流通課	輸出戦略・広域流通係	田口 博康	内線 2853

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 ～ようこそ岐阜へ～

「花」と「お茶」による“おもてなし”について

県では、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会会期中、全国各地から来岐される各都道府県選手団や応援団の皆様を心から歓迎するとともに、両大会を盛り上げ、心に残る思い出を持ち帰っていただけるよう、岐阜県産の「花」と「お茶」による“おもてなし”に取り組みます。

記

1 「花」の“おもてなし”

(1) 両大会開会式での岐阜県選手団の県産花きコサージュ着用

- ・両大会の開会式にて約800名の岐阜県選手団が、歓迎の意を込めて県産花きのコサージュを着用し、会場を華やかに彩る。

◆コサージュの特徴

- [メイン花材] 岐阜県の主要花きである「切りバラ(生花)」を使用
- [バラの色] ユニフォームに映えるピンクで統一
- [デザイン] 県立国際園芸アカデミー学生のデザインを元に、フラワー装飾の専門家が決定



(2) 来場者への県産花きプレゼント

- ・各競技会場において、県下5圏域ごとの地域を代表する鉢花や切り花をプレゼントする。 *詳細は別添チラシ参照
- [配布花き] 県オリジナル品目「フランネルフラワー」のほか、日本一の生産量を誇る「ポットローズ」「ベゴニア」など20品目
- [配布数量] 各競技会場、各競技種目毎200(デモスポ行事は100)



2 「お茶」の“おもてなし”

(1) 民泊される選手・監督への県産茶の差入れ


- ・揖斐川町・池田町において民泊される選手・監督約800名へ、両町の特産品である「美濃いび茶」を差し入れする。
- ◆ペットボトル緑茶500ml(揖斐産茶葉100%使用)、5本/人




(参考) 来場者へプレゼントする県産花きについて

◆岐阜県が生産量“日本一”の7品目

【フランネルフラワー】


	生産量	56万鉢 (全国シェア100%)
	特徴	毛織物(フランネル)のように柔らかな白い花びらを持つのが特徴 今年7月で開催されている‘フリアート’国際園芸博覧会’の品種コンテスト夏の部「中庭・屋外の鉢物」で、第2席を受賞。
	主産地	岐阜市、大垣市

【ポットローズ】


	生産量	487万鉢 (全国シェア53%)
	特徴	県内鉢花の中で生産額がトップの品目。(8億7千万円) 本県はムービングベンチ*の普及により栽培面積2ha以上の全国有数の大規模農家がある。
	主産地	海津市、本巣市、瑞穂市

*ムービングベンチ：女性の力でも簡単に動かせる可動式の栽培棚のこと


【ペゴニア】

	生産量	128万鉢 (全国シェア30%)
	特徴	ポットローズ同様、省力技術の普及により生産面積1ha以上の農家も多い。競技会場で配布するエラチオールペゴニアは、花にボリュームがあり、色鮮やかな色彩が特徴。
	主産地	岐阜市、本巣市


【セントポーリア】

	生産量	65万鉢 (全国シェア100%)
	特徴	岐阜県の栽培は1983年、真正町において始まり、1社で年間50万鉢以上(全国シェア80%)生産する大規模農家がいる。 この品目は種類が豊富で園芸品種は数万種におよぶ。
	主産地	本巣市、坂祝町

【カランコエ】


	生産量	327万鉢 (全国シェア59%)
	特徴	開花調節を行い周年出荷を実現。岐阜県は省力化技術導入により、生産量を伸ばしており、1社で全国生産量の3割を生産する農家もある。
	主産地	岐阜市、本巣市、各務原市、関市

【オステオスペルマム】

	生産量	92万鉢 (全国シェア94%)
	特徴	花色が豊富で品種改良が進んでおり、2色咲きやグラデーションになっているものもある。本県ではオリジナル品種の育成に取り組む農家もあり、現在6品目が品種登録されている。
	主産地	川辺町、岐阜市

◆岐阜県が作付面積“日本一”の1品目

【サボテン・多肉植物(ラブラブハート)】

	作付面積	780a (全国シェア36%)
	特徴	乾燥に強く管理に手間がかからないことから、人気がある。 本県にはサボテン栽培の先駆者がおり、ユニークな商品作りによりインテリア商品として大きくシェアを伸ばしてきた。
	主産地	瑞穂市